

# 鳥屋野運動公園野球場等指定管理者 事業計画概要

中央区地域課

項目	公益財団法人新潟市開発公社(選定者)
1. 事業者の概要	<p>設立 S39. 11. 13 (H23. 4. 1 公益財団法人へ移行)</p> <p>役員・雇用人数 理事・監事 10 人 評議員 8 人 正職員 92 人 臨時及びパート 306 人</p> <p>事業内容 健康増進及びスポーツ振興事業、都市緑化に関する啓発及び保全事業、霊園施設の建設及び経営事業等</p> <p>管理運営実績 (体育施設) H01-H17 鳥屋野総合体育館、西総合スポーツセンター、西海岸公園市営プール                      H07-H17 新潟市庭球場、北地区スポーツセンター                      H10-H17 東総合スポーツセンター、新潟市体育館、全屋外体育施設                      H15-H17 黒崎地区体育館(旧黒崎町内の全体育施設)                      H18-H20 上記に示す全ての体育施設を指定管理者として管理運営                      H21-現在 市内6区(北, 東, 中央, 江南, 南, 西)の体育施設の指定管理者として管理運営</p>
2. 経営理念・経営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益法人としての社会的責任を十分に認識した管理運営</li> <li>・新潟市の施策の方向性を理解した8つの経営方針により、「スポーツに満ちた明るく豊かな新潟市」実現に貢献</li> <li>・「健康増進及びスポーツ振興」の公益目的事業を行うことで、新潟市の発展及び市民生活の向上に寄与</li> </ul>
3. 施設の管理運営方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真アップロード機能付きお問い合わせフォームを導入し、利用者からの施設不具合報告を受け付けることで、迅速な施設保全を実現</li> <li>・大会等では主催者希望に応じて時間外でもスタッフを配置</li> <li>・特定の団体に偏らない公平な施設利用予約と許可の実現</li> <li>・高齢者・子ども・障がい者・外国人に配慮した施設運営を実現</li> </ul>
4. 利用者サービスへの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会の円滑な進行のため、専門的な知識と経験が必要な野球場のグラウンドキーパー等の作業はスタッフが行う</li> <li>・予め雨天が予想される時は、グラウンドシートを適切なポジションに敷く</li> <li>・夏季は、観客スタンド脇やダッグアウトにミストシャワーを設置</li> <li>・「わいわいちびっこフィールド」等、子育て応援プログラムの実施</li> <li>・山二ツゲートボール場の利用が無い2コートペタンク利用として開放</li> </ul>
5. 利用者数増加への取組と実現性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会予備日が開放された場合の「条件付き予約」を導入</li> <li>・利用者の少ない時間帯、多様なニーズを的確に把握したうえで教室開催</li> <li>・日の入りが長くなる6月～8月には、夕刻の延長開館を実施</li> <li>・スマホ版HPやSNS、紙媒体等の多彩なツールを活用した情報発信</li> <li>・市外からの転入者に対し施設PRチラシを配布</li> </ul>
6. 要望や苦情の把握・対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビュー形式、さわやか施設提案、理事長への手紙、アンケート、ホームページ問合せフォーム等による幅広い意見・要望の収集</li> <li>・「お客様の意見を伺う会」を開催し、施設運営の改善点を抽出</li> <li>・内容を迅速に精査し、実施可能程度に応じた迅速な対応・公開</li> <li>・苦情・要望をデータベース化し全スタッフに共有できる体制</li> </ul>
7. 管理経費の適正把握・環境保護への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15年間蓄積してきた経験を基に、単なるコスト削減ではない安全・安心を最優先とした経費の適正な執行</li> <li>・計画的な維持管理で施設を長寿命化、ライフサイクルコストを低減</li> <li>・「新潟市環境優良事業者等認定制度(3R部門)」認定</li> <li>・海岸一斉清掃等の環境保護活動にボランティアで積極的に参加</li> </ul>
8. 自主事業の提案内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次「スポ柳都にいがた」プラン基本理念実現に向けた教室開催</li> <li>・屋外施設ならではの解放感溢れる「青空教室シリーズ」開催</li> <li>・GISソフトのマーケティング分析を活用した効果的な広報活動</li> <li>・日頃施設を利用していない方を呼び込む「足圧・血流測定会」開催</li> <li>・災害救援ベンダー機を含めた自動販売機8台を設置</li> </ul>
9. 区内スポーツ施設との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当公社が主管となり「区内指定管理者協議会」を開催</li> <li>・他施設教室参加者が一同に会する交流会等を開催</li> <li>・区内スポーツ施設を紹介する特設ブースを設置</li> <li>・同一大会を開催する際は新潟県スポーツ公園と情報共有を図る</li> </ul>
10. 従事者の雇用・労働条件・人員配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別業務時間調査により安全な施設管理に必要な職員数を算出</li> <li>・ワークライフバランス等の推進を網羅した規程・行動計画の策定</li> <li>・「新潟市健康経営認定事業所(シルバークラス)」認定</li> <li>・「くるみん(次世代育成支援対策推進法基準適合)」認定</li> <li>・「ハッピー・パートナー企業(新潟県男女共同参画推進企業)」登録</li> </ul>
11. 人材育成の取組・自己管理システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定的で良質な公共施設運営を果たすための体系別研修を実施</li> <li>・安全・安心で快適な施設運営を実現するための資格を計画的に取得</li> <li>・ボトムアップ提案制度により意欲向上と継続的な事業改善を実現</li> <li>・全国の外郭団体が所属する日本公共スポーツ施策推進協議会の幹事として、公共施設の管理運営に関する多様な講習会を年2回開催</li> </ul>
12. 安全管理の対策・緊急時の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故等すべての状況を想定した危機管理マニュアル整備と訓練実施</li> <li>・全スタッフが「普通救命講習Ⅱ」修了証を取得</li> <li>・AEDを各所(野球場1台、球技場1台、山二ツ1台)に設置</li> <li>・場外への飛球による事故防止策について区と協議しながら進める</li> <li>・新潟市との「災害協定」に基づき、有事の際は避難所等運営を協力</li> </ul>
13. 個人情報保護等の取組 関係法令の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共サービス従事者に相応しい法令遵守規程やマニュアルを整備</li> <li>・コンプライアンス担当部署を設置し組織的な体制の確立</li> <li>・運用ガイドラインに基づく万全な個人情報の保護体制を実現</li> <li>・Web研修システム「eラーニング」を活用した法令遵守体制の整備</li> <li>・反社会的団体との接触や反社会的活動への便宜提供禁止を徹底</li> </ul>
14. 地域との連携・社会貢献活動への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会・近隣小学校と連携し、運動指導等にスタッフを派遣</li> <li>・地域活動等に協力し、近隣コミュニティとの絆を深める</li> <li>・中学校の職場体験、インターンシップを受け入れ、人材育成に寄与</li> <li>・女池交番に月間予定表を提出し、大規模大会時の巡回強化を依頼</li> <li>・全社一丸となって持続可能な社会の実現を目指す(SDGs)</li> <li>・「こども110番」施設に登録し、地域の防犯活動に協力</li> </ul>